

2020年度原料規格三者委員会 第2回 書面審議 結果

1. 審議対象：2021年度の定期見直し計画リスト
2. 審議内容：添付の計画リストに記載されている「令和3年度公示予定の種類」
についての下記対応の検討。

確認：5規格、確認(暫定:対応方針26)：1規格、改正：1規格

3. 審議期間：2020年12月9日（水）～2020年12月23日（水）
4. 決議年月日：2020年12月24日（木）
5. 委員数：15名
6. 審議結果：承認

<回答結果> 可 15名
 否 0名

以上

書誌情報 原案作成団体記入欄(1)						
規格番号	規格名称	最新 公示		対応方針	令和3年度 公示予定の種類	対応方針を決めた理由
		種類	年月日			
JIS M 8711	鉄鉱石焼結鉱—落下強度試験方法	改正	2017/2/20	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。
JIS M 8712	鉄鉱石—回転強度試験方法	改正	2017/2/20	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。
JIS M 8713	鉄鉱石—被還元性試験方法	改正	2017/2/20	12	改正	2021年2月 原料規格三者委員会予定。
JIS M 8715	鉄鉱石ペレット—膨れ試験方法	改正	2017/2/20	26	確認	対応国際規格が改正作業中であり、その結果を待ってJIS改正作業を開始する。
JIS M 8717:2017	鉄鉱石—密度試験方法	改正	2017/3/21	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。
JIS M 8718	鉄鉱石ペレット—圧かけ強度試験方法	改正	2017/2/20	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。
JIS M 8720	鉄鉱石—低温還元粉化試験方法	改正	2017/2/20	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。

記号	内容
12	5年見直しに合わせ、改正作業を行っており、かつ、主務大臣に対する改正申出を、 来年度中に行う予定のもの 。 改正の主たる理由、改正申出予定時期などを“対応方針を決めた理由”欄にご記入下さい。
25	規格の改正及び廃止の必要がなく、5年見直しとして、“確認”を要望する。 (規格改正必要性の有無欄で「●」が選択されている場合は、確認でよいとする理由を“対応方針を決めた理由”欄に記入して下さい。)
26	次のような場合には、 暫定的“確認” を要望する。 ・改正原案作成を開始している／開始することとしているが、主務大臣に対する改正申出予定時期が再来年度以降となる場合。 ・調査対象JISを別のJISへ移行させる計画がある場合で、移行予定JISの制定又は改正の申出時期が再来年度以降になる場合 ・対応国際規格が改正作業中であり、その結果を待ってJIS改正作業を開始する予定の場合。 ・JIS改正の要否の検討が、この調査の回答期限内に終わらない場合。 暫定的確認とした主たる理由及び今後の予定などを、“対応方針を決めた理由”欄に記入して下さい。